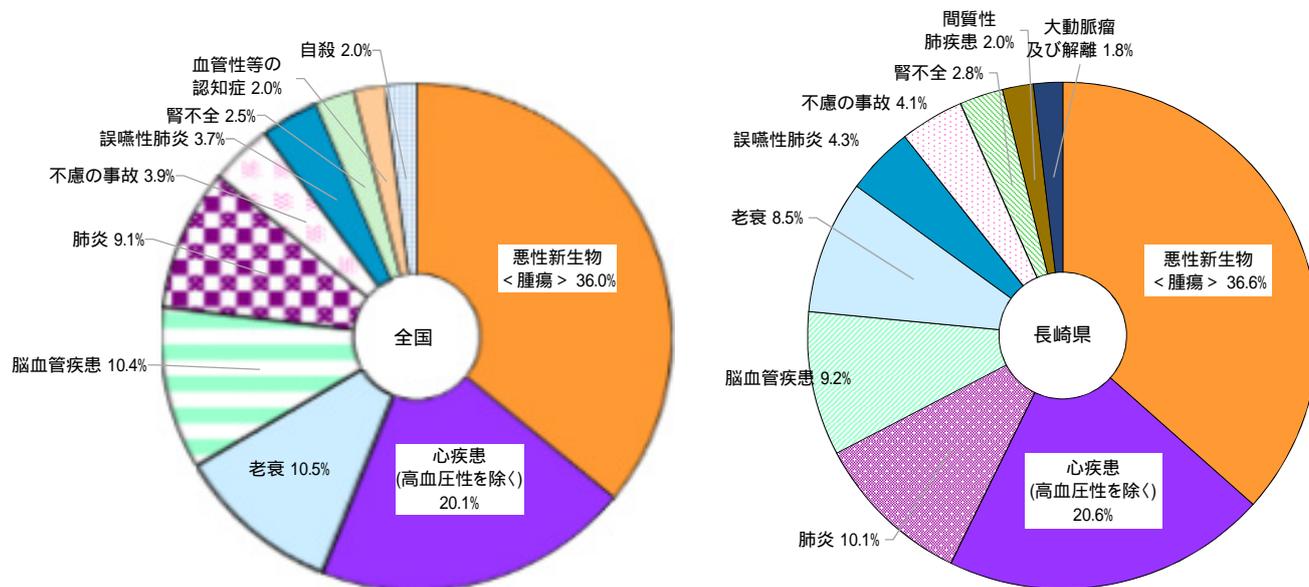


死因別死亡の概況



平成30年における本県の死亡数は、17714人で、前年より199人増加し、人口千人当たりの死亡率は13.3で、前年より0.3ポイント高くなっている。

なお、全国の死亡率11.0との比較では2.3ポイント高い（全国順位14位）。

死亡順位・死亡率（人口10万対）を主要死因別にみると、第1位 悪性新生物 腫瘍 370.6、第2位 心疾患209.2、第3位 肺炎102.2、第4位 脳血管疾患93.1、第5位 老衰86.6であり、いわゆる三大死因の一つである脳血管疾患を肺炎が上回っている。

なお、本県の悪性新生物による死亡率は、全国の300.7に比べて69.9ポイント高い（全国順位9位）。
(県福祉保健課)